

JIRA 会員企業連絡者 各位

写し：JIRA 法規・安全部会 環境委員会 委員 (Bcc 送信)

## JIRA 環境セミナーのご案内

(社)日本画像医療システム工業会(JIRA)環境委員会では、毎年、会員向け活動として環境講演会を実施しております。

今年度は、話題となっております欧州での環境規制にて、医療機器が適用となる改正EU-RoHS 指令/REACHなどに要求される対応について「製品含有化学物質の規制動向とサプライチェーン情報伝達の必要性」をテーマとして、社団法人 産業環境管理協会 化学物質管理部門 JAMP情報センター 所長 清國吉彦 様にご講演いただきます。

欧州地域に多くの製品を輸出し、あるいは生産拠点を置く数多くの日本企業にとっては、欧州環境規制は重要な経営課題にもなっております。

欧州の環境規制に興味のある方は是非ご参加ください。

参加費は1,000円(テキスト代含む)です。当日、会場で徴収させていただきますので、釣り銭のないようにお願いします。会社名の領収証をお渡しいたします。

**演者：社団法人 産業環境管理協会 化学物質管理部門 JAMP情報センター 所長 清國吉彦 様**

**演題：「製品含有化学物質の規制動向とサプライチェーン情報伝達の必要性」**

対象：JIRA会員企業 定員50名

日時：平成24年2月23日(木) 15:00 ~ 17:30 (受付開始は14:30 ~)

会場：JIRA(第4、第5会議室)

東京都文京区後楽2-2-23 住友不動産飯田橋ビル2号館6F

参加費：1,000円(テキスト代、消費税を含む)

**当日、会場で徴収させていただきます。**釣り銭のないようにお願いします。

申込み先：(社)日本画像医療システム工業会 企画部 [kkkb@jira-net.or.jp](mailto:kkkb@jira-net.or.jp);

\*添付の申込用紙にご記入ください。

**締め切り：2月17日(金) ただし定員になり次第、締め切らせて頂きます。**

問い合わせ先：JIRA 企画部 [kkkb@jira-net.or.jp](mailto:kkkb@jira-net.or.jp) 担当：岸見、高橋

TEL：03-3816-3450

<講演概要>：

- ・欧州を起点に化学物質規制強化の潮流
- ・欧州 RoHS 指令、REACH 規則、改正 RoHS 指令と  
今後の各国規制強化の動き(米国、中国、日本)
- ・製品含有化学物質の管理およびサプライチェーン情報要求の背景

- ・ 要求される情報の内容と作成例
- ・ 実践時の含有判断基準、補償範囲、推進体制、情報の信頼性確保
- ・ JAMP の仕組みによる対応

補足：時間により

- ・ GHS 分類と表示、
- ・ 化学物質のリスク評価（改正化審法）

<ご参考：用語解説>

改正 EU-RoHS 指令：

電気・電子製品中に特定 6 物質の使用を禁止する EU の法律（2011 年 7 月公布済）

注） 6 物質《鉛 (Pb)、カドミウム (Cd)、水銀 (Hg)、六価クロム (Cr<sup>6+</sup>)、臭素系難燃剤のポリ臭化ビフェニル (PBB)、ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)》

6 物質群を閾値以上含有する製品について欧州市場への上市を禁止。

カテゴリー 8 と 9（医療機器類と監視・制御機器類）製品への適用が 2014 年 7 月から開始され、CE マーク貼付が義務付けられる。

JAMP (Joint Article Management Promotion-consortium)：

アーティクルマネジメント推進協議会 (JAMP) は、アーティクル（部品や成形品等の別称）が含有する化学物質等の情報を適切に管理し、サプライチェーンの中で円滑に開示・伝達するための具体的な仕組みを作り普及させることが、我が国の産業競争力の向上には不可欠であるとの認識に立ち、この理念に賛同する企業が発起人となって 2006 年 9 月に業界横断の活動推進主体として発足した。

GHS (Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals)：

化学品の分類および表示に関する世界調和システムといわれ世界的に統一されたルールに従って、化学品を危険有害性の種類と程度により分類し、その情報が一目でわかるよう、ラベルで表示したり、安全データシートを提供したりするシステムである。